

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	論理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	桑原英之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
論理的に考え、推論し、書く能力は学問の基礎であるとともに社会生活の基盤である。本講義はレポート・論文の書き方をはじめ、言葉の正確な使用によって正しく伝える(理解する)技術の習得し、クリティカルシンキング等の批判的思考力の養成することにより、論理的にものごとを捉え表現することができるようになることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
配信した資料を事前に読んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
論理的な力は知識ではなく練習問題(トレーニング)を通じてしか向上しません。講義内で出される課題に意欲的に取り組んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	論理で何を学ぶか説明することができる。		パワーポイント、 配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	イントロダクション: 論理の基本についての講義 論理学とはどのような学問分野でありこの講義で何を何のために学ぶのか理解する。				
第2回	授業を通じての到達目標	レポートとは誰に何の目的で書くことなのかについて説明できる。		パワーポイント、 配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	レポートの特徴についての講義 レポートと感想文の違いや意義について理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	レポートの構成法について説明できる。		パワーポイント、 配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	レポートの構成法についての講義 レポートの構成法や各パラグラフにおいて書くべき内容について理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	論理的に書く場合の正しい言葉の使い方やアカデミックワードを使用できる		パワーポイント、 配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	論理的文章を書く場合の言葉についての講義1 論理的文章を書く際の言葉の選び方やアカデミックワードについて理解する。				
第5回	授業を通じての到達目標	論理的に書く場合の文章のねじれの注意点について説明できる。		パワーポイント、 配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	論理的文章を書く場合の文についての講義 論理的文章を書く際に気をつけるべき文章のねじれのパターンについて理解する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	接続表現を使って論理的に文章をつなげることができる	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	論理的文章を書く際の接続表現についての講義 文章同士の論理的関係を理解して正しく接続表現を用いることの意義を理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	論理的な文章を書くことができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	論理的に書くことをトレーニングする講義 これまで学んだ論理的に書くためのポイントを踏まえた上で文章を書いてみる。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	論理的な文章を書くことができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	論理的に書くことをトレーニングする講義 これまで学んだ論理的に書くためのポイントを踏まえた上で文章を書いてみる。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロジカルツリーをつかって整理することができる	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ロジカルツリーの作り方・利用法に関する講義 ロジカルツリーを使って整理することの意義について理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	理由をつけて意見を述べることができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	理由を付すことの重要性についての講義 意見に適切な理由をつけて述べるができる。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	誤謬推論について説明することができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	誤謬推論に関する講義 誤謬推論について理解すると共に批判的思考について理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	帰納法と演繹法の違いについて説明できる	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	2つの推論法の違いについての講義 帰納法と演繹法の違いについて理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	逆・裏・対偶をつくることができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	逆・裏・対偶についての講義 対偶だけが論理的に正しくなることについて理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	三段論法を解くことができる	『ナースのための実践論文講座』、パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	三段論法についての講義 正しい三段論法と誤った三段論法について理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各回の講義内容を関連付けて全体像を説明することができる。	パワーポイント、配布資料	・資料の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・講義内容や練習問題を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめと終講試験 論理的に考えたり書いたりすることの意義と今後の課題について理解する。		